

令和2年度 赤阪小学校を改善していくための提案

※保護者の皆様より頂いたご意見についてお答えしたいと思います。ご意見につきましては、ほぼ原文通りの表現にさせていただいております。但し、個人が特定されると思われる内容については、記載を控えたり、変更させていただいたりしております。

また、ご提案にはご記名をお願いしていただきましたので、記名のあったものについて掲載させていただきます。無記名のご提案は掲載せず参考とさせていただきます。ご了承ください。

赤阪小学校長 當麻裕彦

(学校行事について)

■いつもお世話になりありがとうございます。感染防止対策にも力を入れて頂きありがたく思っています。今年度はコロナ禍のため、短縮での運動会でしたが、先生方に工夫してプログラムを作って頂き、内容には十分に感じました。周りのお母さんたちと話していても、お弁当なしは助かるし、これからも半日でいいよね。との声がありました。もちろんお弁当を楽しみにしている子どもたちもいるかとは思いますが。コロナが落ち着いた後の場合、もう少しプログラム数を増やすにしても、開始時間を早めたり、終了時間が多少遅くなったりしてもいいと思います。時期的にまだ暑い中での行事であり、毎年午後からのプログラム数もそんなに多くないのでこれからも半日に短縮しての開催を続けていけるのではないかと感じました。

→<ご提案、ご意見に対して>

今年度は、新型コロナウイルス感染症のために、様々な学校行事や教育活動に制限や工夫が必要でした。また、工夫によって、改善できる行事や業務もありました。本校の運動会は、小規模学校の特徴を生かして、PTA 競技や卒業生、就学前児の種目など地域と一体となった温かい行事という特徴もあります。次年度の行事や教育活動はまだ見通しが立たない状況ではありますが、貴重なご意見やPTAの会議等の意見も参考に次年度になってから決めていきたいと思っております。

(PTA 活動について)

■PTA 活動について、具体的な説明がないまま次の学年になると、役員選出に出なければいけないが、PTA とはどういったものか、学校との連携等はどうなっているのか、詳しく知りたい。学校のPTA 委員会についても仕事内容や集まる頻度等、6年間のうちに必ず1回は委員会をしないといけない等、知らないことばかりでどこに聞けばいいのか、担当する人、担当窓口がわからない。

→<ご提案、ご意見に対して>

PTA 活動についてご心配を感じながらもご尽力くださりありがとうございます。今年度は特に、PTA 総会の後の委員会の引継ぎや学級懇談会での引継ぎ、看板点検や、夏の奉仕活動など、保護者の皆様同士が対面する機会が極端に少ない中で、学級委員、広報委員、保健体育委員、地区委員の活動をお願いする形になり、PTA の活動が見えにくかったと思います。

PTA は、子供たちの健やかな成長、子供たちの幸せのために、保護者と学校が連携協力して生活環境をよくしたり、教育活動を盛んにしたりするもので、本校PTA規約には「会員相互が協力し、学校と家庭と社会との関係を一層蜜にして、児童福祉の増進と、会員相互の向上と親睦をはかることを目的とします」とあります。5月にお配りしているPTA総会資料には、昨年度のPTA活動の報告と今年度実施するはずだった計画が掲載されていますので今一度ご確認ください。

本校PTA組織は4名の本部役員と各学級からは上記うち2名の委員を選出していただいております。また、地区からは地区委員を選出していただいております。少人数の学級と小規模な地区では、

何度も委員に選出されるということもあります。いずれにしても、子供たちのために、無理のない範囲でご協力をお願いするというスタンスが大切かと思えます。今年度は、できなかったことも多い中ですので今一度、役員会や実行委員会などでPTA活動についても見直す機会にしていきたいと思えます。

(学習について)

■学校での授業の内容が分からない状態のまま宿題で分からないところを教えるとき、子供たちが、今どのページのどの問題をやっているのか、どのようにして問題を解いているのか等、学級通信で教えてほしい。新しい課題になると親としての教え方や問題について悩むことがある。教科書を見て、子供がどのページを学んでいるのかを探るところから始まるので、親の方にも、子供たちがこんな感じで問題を解きます等教えてもらえると助かるし、子供のサポートもしやすい。家事などで時間に追われているときに問題が分からず、「教えて」と言われても実際に解き方が分からず、親の方がイライラしてしまったり、怒ってしまったりすることがある。分からないことは学校で聞かないとダメ。昨日もやったのに分からないのかなどと言ってしまうこともある。できるだけ怒らずに教えてあげたいのですが、先生たちのように上手に気持ちに余裕をもって教えることは難しい。→<ご提案、ご意見に対して>

日々、お子様のためを思い、学校での学習内容についての関わりをしてくださっていることがよくわかります。ありがとうございます。お子様との関わり方については、学校と家庭が連携協力することが大変大切であることは間違いありませんので、疑問やご相談などは、お子様のために担任と連携していただき、連絡をとって頂くことをこれからもよろしくお願いいたします。

私も教師を長年しておりますが、自分の子に教えていた時は、理解してもらえないことや、何度も同じ事を説明しなければならないことなどにイライラしてしまったりもしています。教え方の上手さや内容の理解度だけではなく、お子様とどのような距離感で対応するかということも大切ではないかと思えます。これからも、連携やご協力をよろしくお願いいたします。

■「道徳」で人の気持ちや思いやりなどの大切さを、また、自己主張について、今一度教えてもらえたらと思えます。傷つくことは、一切言うてはいけないのか、間違っではいけないのか、間違ったらどうしたらよいのか、純で子どもらしくあってほしいのですが、グレーなことなどもないということ、クラスのみんなはどう思っているのでしょうか。

→<ご提案、ご意見に対して>

「道徳」の学習では、「思いやり」「感謝」「礼儀」「生命尊重」等々低学年で16項目、中学年度18項目、高学年で22項目について教科書をベースにしながらず指導しています。また、自分の考えを分かりやすく人に説明することや人の考えを受け容れること、世の中にはどちらにも決めることができない部分もあるということなどについても学年に応じて学ぶ機会を設けています。

奥深く哲学的なご提案に対して、なかなかお答えが難しく思いますが、お考えは校内で共有して授業内容を考える参考にさせていただきます。



「道徳の内容」の学年段階・学校段階の一覧表（東京都教育委員会）

【裏面に続く】

(学校からの対応について)

■親から、他人の子供や先生に対する抗議があった場合の対応が少し過剰な時があると感じます。子供はよいこと、悪いことをしながら、また、いろいろな子供がいる中で成長していくと思います。いろんな事が起こるのが普通で、起こったときには、その場で学校で先生がサポートして頂けたらいいと思います。もちろん親がしっておかないといけないこともあると思いますが、小学生は親も子も共にもっとのびのびできたらなあと思います。

→<ご提案、ご意見に対して>

学校でのめめごと、気にかかること、体調のことなどについては、保護者の方にも知らせることが基本であると考えています。もちろん保護者の方のお考えによっては「この程度のことです・・・」と感じられる方もあるかもしれないし、学校の判断でこの程度なら知らせなかったことに対して「どうして知らせてもらえなかったのか」とお感じになられる方もいらっしゃるかもしれません。

家庭との情報共有や連携はお子様のためということもあり、学校で指導したことなども含めて念のためにご家庭にもお知らせしておこうと考えることが、私たちが心がけている姿勢です。

(学童保育について)

■赤阪小で学童をしてほしいです。学童じゃなくても待機できる部屋を設けてもらいたいです。仕事が終わって、学童だけ小吹台まで迎えに行かなければならないのはすごくすごく手間です。同じ場所にいるのに何でって思います。わざわざ迎えに行くのが大変です。ご検討よろしくお願ひします。

→<ご提案、ご意見に対して>

本校に学童を設置することについて、千早赤阪村教育委員会で検討され、実際に本校の校舎ではどこに設置するのがいいのかということも検討されていました。

しかし、一昨年度、「赤阪小学校に学童を設置に向けて」という事で保護者の方と教育委員会で話し合いを重ねた結果、「赤阪小学校では設置しない」との結論になったということです。しかし今も、こういうお声があることは教育委員会にはお届けします。

(校庭開放について)

■防犯やケガ等の問題もあるとは思いますが、懇談の時だけでなく、月何回か(1回でも)放課後校庭開放をしていただけるとありがたいです。

「くすのき学習会」のような授業以外での学習ができるような取り組みをまたしてほしいです。

→<ご提案、ご意見に対して>

本校の「校庭開放」は3年前にPTAから引き継ぎ、学校が校庭開放を運営するようになりました。今年度は14時50分児童の下校後の放課後に、学校教職員の「研修会」「会議」などが無い日に実施することに決めておりましたが、なかなかそういう日が少なかった現状がありました。「子ども育みボランティア」の募集なども行っていましたが、コロナの影響もあってなかなか思うようには進みませんでした。申し訳ありません。

「くすのき学習会」については新型コロナウイルス感染症の影響で臨時休校となったこともあり、少しでも子供たちの学習のサポートができたらと、千早赤阪村教育委員会が特別予算を組んで実施していただいた事業でした。こういうお声は教育委員会に届けておきます。

【裏面にも印刷】